

2019年度 評価項目の達成及び取り組み状況

自己評価表 (教職員)

区分	内容	理由及び今後の課題
保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育理念や教育方針を理解している。</li> <li>・教育要領・教育課程・幼児の実態などをもとに考えて指導計画を作成する。</li> <li>・指導計画は総合的な活動ができるように考慮して作成する。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をする。</li> <li>・自分の保育と計画の評価・反省を行ない次の保育と計画に活かす。</li> <li>・日々、健康と安全に対する配慮を行ない、気付いた場合はすぐに報告し、対策を立てられるようにする。</li> <li>・一人ひとりの幼児をよく観察し個々の発達の姿や課題について見通しを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領の改訂に対して、もう少し読み込む必要があったと反省している教師もいた。</li> <li>・天候、子どもたちの体調を考慮しながら、臨機応変に戸外、園内での遊び方を工夫してきた。環境構成については、先輩に相談することが多く、自ら考えて構成していくことを次の課題にしたい。</li> <li>・子どもたちを見守ることが主となり、もう少し環境構成について考えていきたい。</li> <li>・一緒に組む教師同士、教職員全体での報告、連絡、相談を大切にしていきたい。</li> </ul>
保育の在り方・幼児への対応	<p>幼児のことばによく耳を傾けるとともにわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をする。</li> <li>・園すべての幼児について理解を深め、指導上配慮を必要とする場合は共通理解を持って対応する。</li> <li>・自分のクラスだけではなく他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うことにより、幼児自らが一人ひとりの違いを理解し認め合いながら生活できるように配慮・助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのことで気になることや当日のケガについては、毎日の報告会で共通理解できるようにしてきた。預かりの利用の子どもたちについては、預かり担当の教師にも引継ぎを大切にしてきたが、時々伝達不足もあったので、気を付けていく。</li> <li>・伝染病にたいしての意識については、個人差があった。幼稚園の職員としては、共通理解に立ち対応できるよう確認していった。</li> </ul>
教師としての資質や能力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との信頼関係を作る為の努力をしている。</li> <li>・仕事の手順を考え、能率よく行う努力をする。</li> <li>・組織の一員として教職員全員でひとつのチームであることを意識している。</li> <li>・教師として幼児と共に生活することを楽しみ、幼児の成長を心から喜ぶことができる。</li> <li>・幼稚園や幼児のことだけでなく自然や社会のできごとにも興味を向けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師たちなりに保護者の方々とのコンタクトをとろうと思っているが、それが、なかなか通じないと感じることがおおくある。</li> <li>・仕事の優先順位や事前準備の取り組みが悪いところがあるので、反省。</li> <li>・他の先生方に負担をかけてしまうことが多くあると思う。(体力的な面で)</li> <li>・預かり担当が複数になることによって、今までの仕事の負担が軽減されて感謝です。</li> <li>・保護者との話が長くなってしまうことが多いので、要点を絞って伝えられるように心がける。</li> </ul>

<p>保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイント等をクラス便りでわかり易く伝える。</li> <li>・個々の子どもの様子を伝え園と家庭で成長を支える為の共通理解をもつことができる様に努める。</li> <li>・保護者からの様々な意見については園長等に報告相談する。</li> <li>・守秘義務を遵守する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス、学年のおたよりの発行に担当の先生方が心をつくしているのがわかります。保護者の方も喜んでくれていると思います。</li> <li>・守秘義務は、まもっている。</li> <li>・クラス、学年、預かり、バスなど子どもたちが流動的に過ごすことが多いので、教師が連携していくことが、保護者の方の安心にもつながると思う。</li> </ul>
<p>地域の自然や社会との関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然や主な施設の場所交通機関についてある程度理解している。</li> <li>・地域の小学校の行事や公開授業に関心をもつ・地域開放や子育て支援のあり方について関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に車と幼児の事故がニュースに出るからは、散歩に行く時も教師の人数を多くして園外にできるように心がけた。今年度は、例年よりも園外にできることが少なかったと思う。</li> <li>・近隣の小学校への行事には、足を運ぶようにしてきたが、3学期の交流会ができず残念だった。</li> </ul>
<p>研修と研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や研究会には自己課題を持って進んで参加している。</li> <li>・指導計画の作成や記録の取り方について研究を行なう。</li> <li>・アレルギー、自立の遅れなど子どもを取り巻くさまざまな状況について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーについては、共通理解をもって保育していきたい。</li> <li>・研修会は、夏休みを利用して参加することができるが、通常時には、なかなか保育後に参加することが難しかった。</li> <li>・勤務時間と仕事の内容をもう少し意識して取り組むことで、退勤後の時間を有効につかってほしい。</li> </ul>